

# 第8回弘前大学附属図書館 POPコンテスト受賞者発表

今年もたくさんのご応募・ご投票ありがとうございました！シール投票・WEB投票により、こちらの5作品が入賞しました。受賞者の方々から、この本を選んだ理由や、応募したきっかけなどについてコメントをいただきました。

## 大賞

理工学部3年 吉永 出



図書館は借りたい本を借りに行くだけの場所ではなく、予想外の本とも出会う場所でもあると思うので、なかなか借りられる機会の少ない画集という媒体にも触れてもらいたくてこの作品を選びました。

この作品の一番のアピールポイントはPOPでも書いているように下書きも修正もせずに一発描きの作品であることで、読んでもらったら驚くこと間違いなしなので、是非手に取って見てみてください！

## 優秀賞

医学部3年 佐々木 慎一郎



昨年度に引き続き、優秀賞を受賞することができ大変光栄です。最近、短くて多彩なツール、タイパを求めるといふ急ぎが流行っていますが、そんなに生活は豊かにならなそうであります。バランスよくコンテンツを選択して貧乏な消費ではなく、おおらかで豊かな消費を薦めたいです。よく忍耐し、時に幸運です。あまり短い眼でなく、風景は長くゆっくり眺めると云うことです。自省録は、そんな我々への memo です。



この度サンライズ産業(株)賞をいただくことができ、大変光栄です。様々な子どもたちの特性を知りたいという思いから、この本を手に取りました。この本には、7人の子どもたちの性格とその子を理解するポイントが、かわいいイラストと共に描かれています。子どもや自分、周りの人を知りたい人、優しい雰囲気の本が読みたい人、すべての方におすすめです。このPOPが、誰かこの本が出会うきっかけになってくれたら嬉しいです！

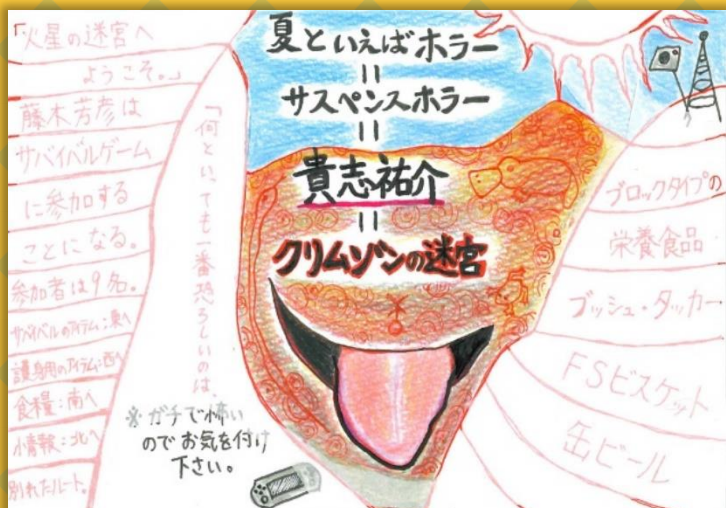
佳作



農学生命科学部1年 黒沢 日菜

この作品で受賞することができたこと、大変嬉しく思っております。本書では、新型コロナウイルスで話題になったmRNAワクチンの誕生秘話やそのメカニズム、従来のワクチンとの違い等について書かれています。

本書の出版から約1年が経ちました。ワクチンの接種が進む中、接種後に亡くなられた方の遺族会が結成されるなど、流れが変わりつつあります。ワクチンについて一度立ち止まり再考するきっかけとなりましたら幸いです。



人文社会科学部3年 加藤 明日香

佳作という賞を頂けたこと、とても嬉しいです。賞品の図書カードで貴志祐介の新しい本を買いたいと思います。『クリムゾンの迷宮』を選んだ理由は、同作者の『新世界より』を読んだ時に「ファンタジーな世界観をこんなにも緻密に作れる人がいるんだ！」と感動し、同じくらいにえぐいと評判の本を手に取り、物語の内容の濃さにどんどんと引き込まれたからです。漫画化もされているそうです。あと『天使の囁き』もおもしろいです。



羽淵館長（前列右）  
サンライズ産業株式会社  
工藤取締役管理部長（前列左）  
及び受賞者のみなさん

弘前大学附属図書館では、2015年より毎年、図書館の利用促進や読書推進を目的としてPOPコンテストを開催しています。

今年もたくさんの応募があり、作品はすべて該当図書と共に図書館本館の2階企画展示コーナーに展示されました。そして、来館者からのシール投票及び専用WebページからのWeb投票によって、全5作品の入賞が決定しました。

今回は、作者の筆致を想像させるような言葉と写真で『40 days dans le désert B』（B砂漠の40日間）を紹介した理工学部3年吉永出さんが大賞を受賞しました。優秀賞には、モノクロの写真と印象的なコピーで『自省録』を紹介した医学部3年の佐々木慎一朗さんのPOPが選ばれました。



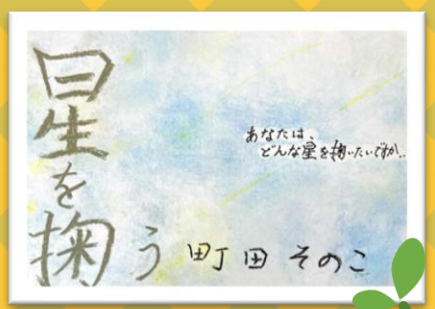
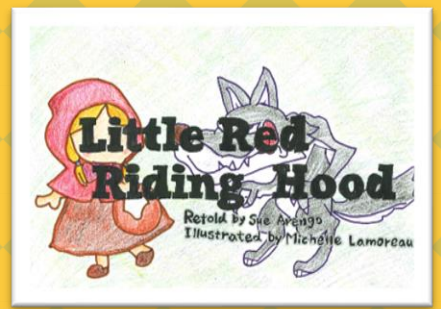
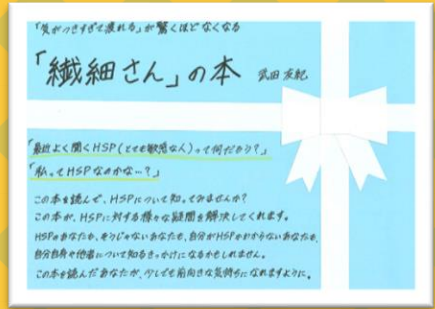
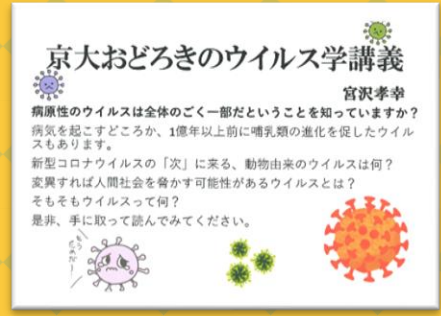
また、今回もサンライズ産業株式会社様にご協賛いただき、サンライズ産業(株)賞は、色鉛筆のかわいらしいイラストで『星と虹色なこどもたち』を紹介した教育学部1年の佐々木優奈さんが受賞しました。

3年ぶりに行われた表彰式ではそれぞれの受賞者に表彰状と賞品の図書カードが手渡され、受賞者からこの図書を選んだ理由などについて熱い思いが語られました。



受賞POPと該当図書は引き続き展示する予定ですので、気になる本がありましたらぜひ借りてみてください。





今年もたくさんの素敵な POP を  
ありがとうございました！